

団体名 チャイルドライン岩国ステーション（岩国市）

代表者名	村中 昌恵	団体の目的
構成員数	37人	18歳までの子どもたちからの電話相談などの事業を行い、子どもの状況を社会に発信するとともに、「子どもの権利条約」の啓発、子どもが豊かに育つ環境づくりに寄与する。
設立	2007年(H19年)6月	
問い合わせ先	080-1636-1135（村中）	

事業名 チャイルドライン公開講座・受け手継続研修・支え手研修

- 事業の目的**
- ・市民にチャイルドラインを知ってもらい、子どもの声に耳を傾け寄り添える大人を増やし、子どもの生きづらさが緩和され安心して暮らせる社会の実現を目指す。
 - ・子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちに信頼され、子どもたちの心の居場所になれるチャイルドラインの受け手・支え手を養成する。

- 事業の内容**
- ・チャイルドライン受け手継続研修
 - 開催日： 6月21日 講師：堀江秀紀さん「子どもの現状と発達」
 - 10月17日 講師：山口 修さん「子どもの権利」
 - 10月25日 講師：石井由紀さん「子ども時代にたちかえる」
 - 12月19日 講師：石井由紀さん「子どもたちの心に寄りそう」
 - 3月 7日 講師：石井由紀さん「聴くということ」
 - 場 所：岩国市中央公民館 参加者：30人
 - 内 容：子どもたちの話を聞き、寄り添い、子どもたちに信頼される受け手となるスタッフの研修
 - ・チャイルドライン支え手研修
 - 開催日：12月5日 場 所：団体事務所 参加者：5人
 - 内 容：石井由紀さんを講師に、受け手スタッフのサポート方法を学ぶ研修
 - ・チャイルドライン公開講座
 - 開催日：2月28日 場 所：岩国市福祉会館及び Zoom 参加者：35人
 - 内 容：木村素子さんオンライン講演会
演題「すべての子どもに居場所を-子どもに寄り添う大人がいる地域を作る-」

事業の成果

- ・継続して研修を受講することにより、チャイルドラインの受け手として、より子どもたちの声に耳を傾けることができるようになった。
- ・オンラインによる公開講座は初めての試みだったが、県外からの参加もあり、今後の可能性の広がりを感じることができた。

チャイルドライン岩国ステーション公開講座 きらめき財団助成金事業
すべての子どもに居場所を
「みんなの学校」木村素子さん講演会
～子どもに寄り添う大人がいる地域をつくる～
2021年2月28日(日)
13:00～15:00
●会場：岩国市福祉会館1階研修室(〒747-0001)
●参加費：前売券1,500円(当日券2,000円)
●申込先：1人200名
●申込締切：2月25日(金)午後12時

全府で1統合が取り込まれた平成25年度支援2市国際大規模な70歳を定めたがキッズ・タリ-歌劇「みんなの学校」二スな学校・二人な社会をバカなことができるなんて...という想いと感動の瞬間が、今も全国で自主上映会が広がっています。

【お申し込み】
1.お申し込みは、2021年2月28日(日)13:00～15:00まで、岩国市福祉会館1階研修室(〒747-0001)で行われます。
2.お申し込みは、2021年2月25日(金)午後12時までに、お申し込みください。
3.お申し込みは、2021年2月25日(金)午後12時までに、お申し込みください。
4.お申し込みは、2021年2月25日(金)午後12時までに、お申し込みください。

木村素子さん講演会